

TOSHIBA

2019年度 第2四半期決算

2019年11月13日
株式会社 東芝
代表執行役専務

平田 政善

注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- 当社グループはグローバル企業として市場環境等が異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）により、当社の予測とは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。詳細については、有価証券報告書及び四半期報告書をご参照ください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの6ヶ月累計です。
- 注記が無い限り、セグメント情報における業績を、現組織ベースに組み替えて表示しています。
- 当社はキオクシアホールディングス(株)（旧東芝メモリホールディングス(株)、以下「キオクシア」）の経営に関与しておらず、同社の業績予想を入手していないため、当社グループの財政状態、経営成績またはキャッシュ・フローの見通しにはキオクシアの影響は含まれておりません。

本日のご説明内容

01 全社業績

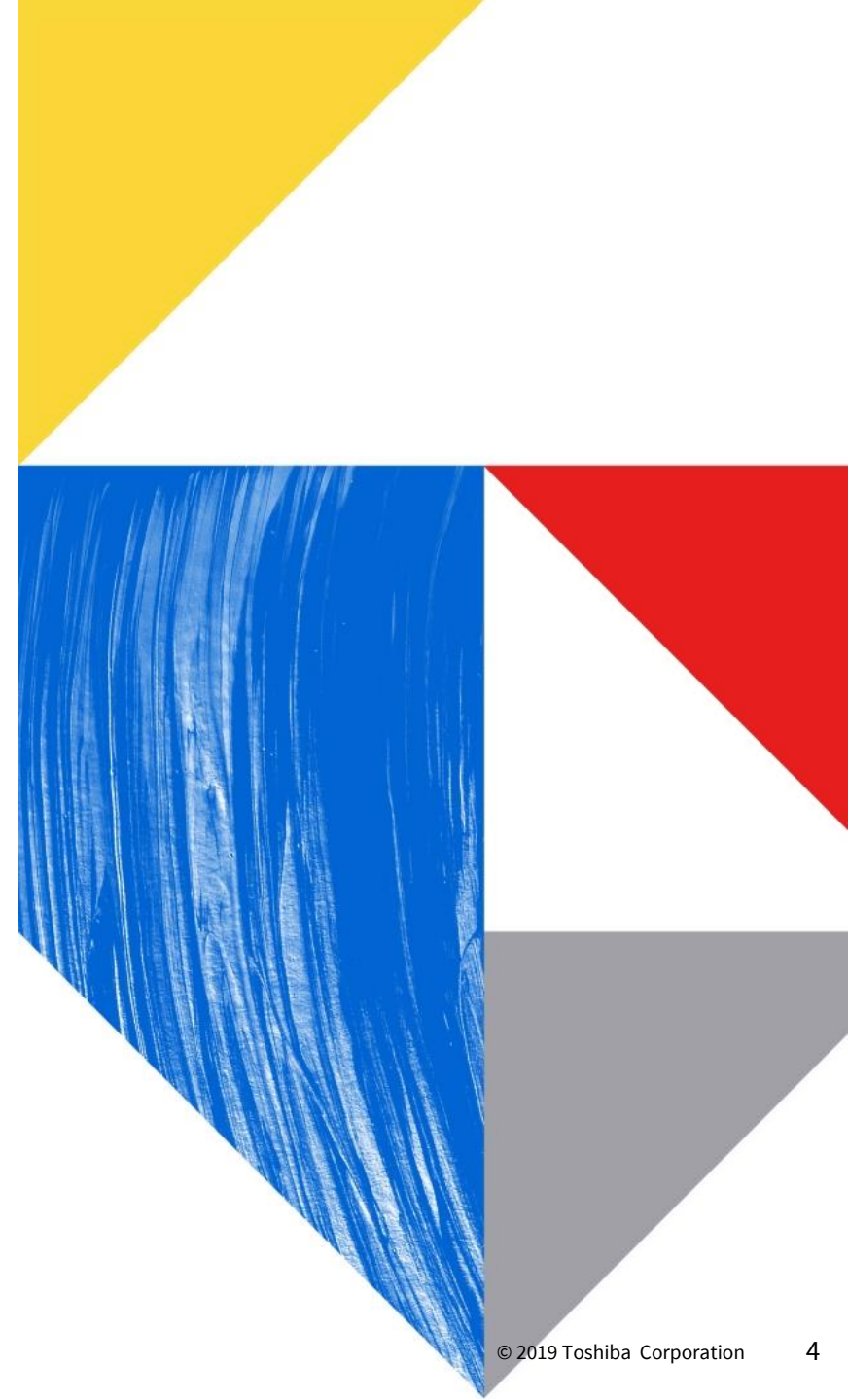
02 セグメント別業績

03 補足説明事項

04 2019年度業績予想

01

全社業績



損益/キャッシュ・フロー項目

構造改革・調達改革により収益力が着実に改善

単位:億円

(↗):改善要因

(↘):悪化要因

	18/上期	19/上期	差	主な差異要因
売上高 伸長率	17,780	17,114	▲666 ▲4%	(↗) インフラシステムSL、ビルSL リテール&プリンティングSL、デジタルSL (↘) エネルギーシステムSL、デバイス&ストレージSL その他 (PC事業の連結除外影響 ▲794) (↘) 為替影響 ▲130
営業損益 ROS	70 0.4%	521 3.0%	+451 +2.6%pt	(↗) エネルギーシステムSL、インフラシステムSL、ビルSL、 リテール&プリンティングSL、デバイス&ストレージSL デジタルSL (↘) その他 (↘) 為替影響 ▲32
継続事業 税引前損益	706	▲1,122	▲1,828	(↘) LNG事業譲渡損失 ▲892 キオクシア (旧東芝メモリ) 持分法損益差 ▲1,065 (18/上期実績 452→19/上期実績 ▲613)
当期純損益	10,821	▲1,451	▲12,272	(↘) 前年同期に、事業売却益を含むメモリ事業からの非継続 事業損益を計上した影響 ▲10,333
一株当たり 当期純損益	1,660.61円	▲283.95円	▲1,944.56円	
フリー・キャッシュ・フロー	15,641	▲1,421	▲17,062	(↘) 前年同期にメモリ事業売却収入を計上した影響 ▲14,583 LNG事業譲渡損失 ▲892

※ “SL”はソリューションの略

バランスシート項目

単位:億円
 (↗):改善要因
 (↘):悪化要因

	19/3末	19/9末	差	主な差異要因
株主資本	14,567	10,570	▲3,997	(↘) 当期純損益 ▲1,451 (↘) 自己株式取得 ▲2,409
株主資本比率	33.9%	28.8%	▲5.1%pt	
Net有利子負債 ※	▲9,008	▲3,229	+5,779	(↘) フリー・キャッシュ・フロー ▲1,421 自己株式取得 ▲2,409 会計基準変更によるオペレーティングリース債務増加 ▲1,552 他、配当金の支払、為替影響等
Net D/Eレシオ	▲62%	▲31%	+31%pt	
期末日為替レート (米ドル)	111円	108円	▲3円	

※Net有利子負債がマイナスの場合、Netキャッシュの状態(現金同等物が有利子負債を上回る)であることを示しています。

詳細項目

単位:億円

	18/上期	19/上期	差
売上高	17,780	17,114	▲666
営業損益	70	521	+451
営業外損益	636	▲1,643	▲2,279
継続事業税引前損益	706	▲1,122	▲1,828
税金費用	▲204	▲166	+38
非支配持分控除前 継続事業当期純損益	502	▲1,288	▲1,790
非支配持分控除前 非継続事業当期純損益	10,444	-	▲10,444
非支配持分帰属損益	▲125	▲163	▲38
当期純損益	10,821	▲1,451	▲12,272
1株当たり当期純損益	1,660.61円	▲283.95円	▲1,944.56円
フリー・キャッシュ・フロー	15,641	▲1,421	▲17,062
	19/3末	19/9末	差
株主資本	14,567	10,570	▲3,997
株主資本比率	33.9%	28.8%	▲5.1%pt
純資産	16,990	13,005	▲3,985
Net有利子負債	▲9,008	▲3,229	+5,779
Net D/Eレシオ	▲62%	▲31%	+31%pt
期末日為替レート(米ドル)	111円	108円	▲3円

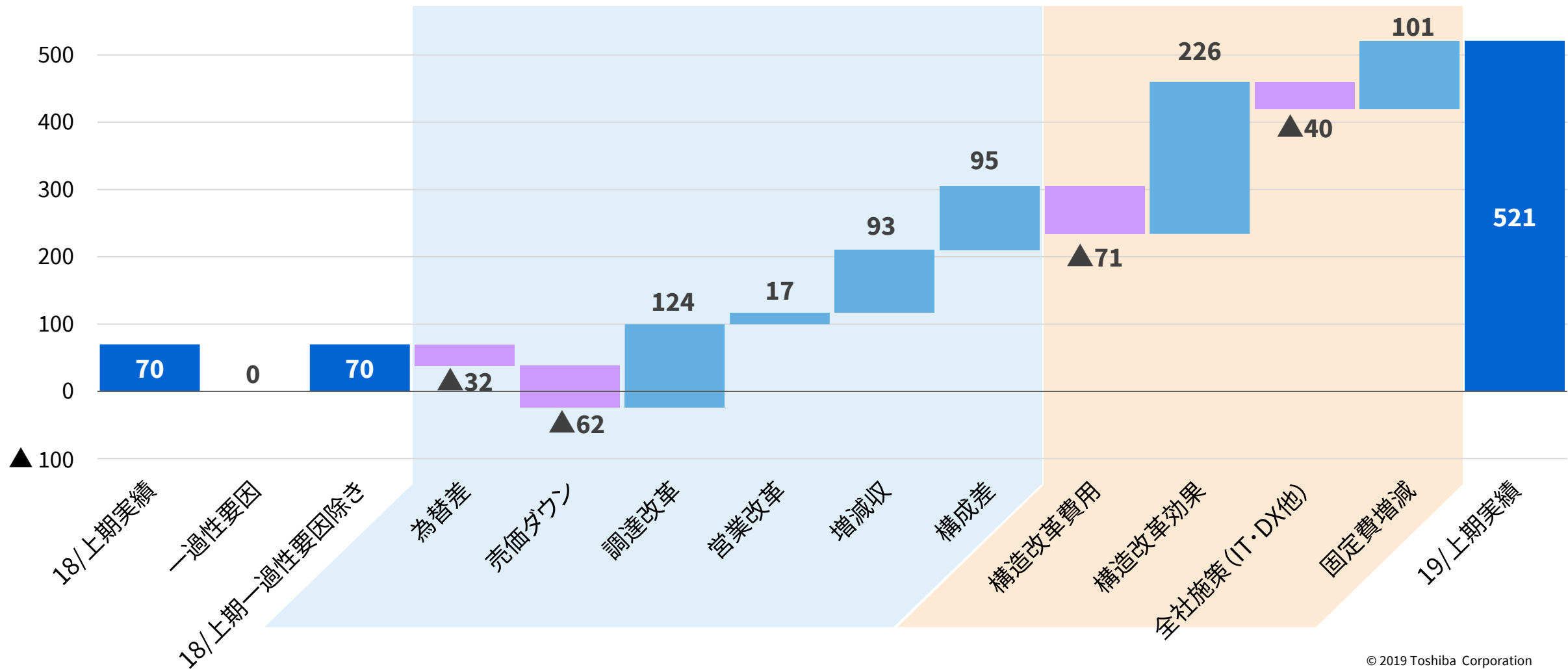
営業損益分析(18/上期→19/上期)

構造改革・調達改革の効果の実現により対前同増益

限界利益的要因 +235

固定費的要因 +216

単位:億円



営業外損益

キオクシア持分法損益やLNG事業譲渡損失を主因に対前同減益

単位:億円

	18/上期	19/上期	差	
金融収支	▲24	▲6	+18	
為替差損益	20	▲32	▲52	
固定資産売却損益	▲12	▲11	+1	
有価証券売却損益	29	▲2	▲31	
訴訟和解費用	▲44	▲59	▲15	
持分法損益	503	▲587	▲1,090	※1
その他	※2 164	※3 ▲946	▲1,110	※2:昨年度 東芝病院譲渡益 239 ※3:LNG事業譲渡損失 ▲892
合計	636	▲1,643	▲2,279	※1:キオクシア持分法損益差 ▲1,065 (18/上期実績 452→19/上期実績 ▲613)

※当社はキオクシア(旧東芝メモリ)の経営に関与しておらず、当社としてキオクシアの業績をご説明する立場にないことからキオクシアの業績の詳細についてのご説明は差し控えてさせていただきます。

フリー・キャッシュ・フロー

メモリ関連及び一過性要因を除けば営業CFは堅調に推移

単位:億円

	18/上期	19/上期	差
営業キャッシュ・フロー	1,992	▲809	▲2,801
投資キャッシュ・フロー	13,649	▲612	▲14,261
フリー・キャッシュ・フロー	15,641	▲1,421	▲17,062
(参考値)			
メモリ関連キャッシュ・フロー ※			
営業キャッシュ・フロー	735	0	▲735
投資キャッシュ・フロー	※1 13,933	0	▲13,933
フリー・キャッシュ・フロー	14,668	0	▲14,668
一過性要因 ※			
営業キャッシュ・フロー	※2 563	※3 ▲1,278	▲1,841
投資キャッシュ・フロー	0	0	0
フリー・キャッシュ・フロー	563	▲1,278	▲1,841
メモリ関連及び一過性要因を除くキャッシュ・フロー ※			
営業キャッシュ・フロー	694	469	▲225
投資キャッシュ・フロー	▲284	▲612	▲328
フリー・キャッシュ・フロー	410	▲143	▲553

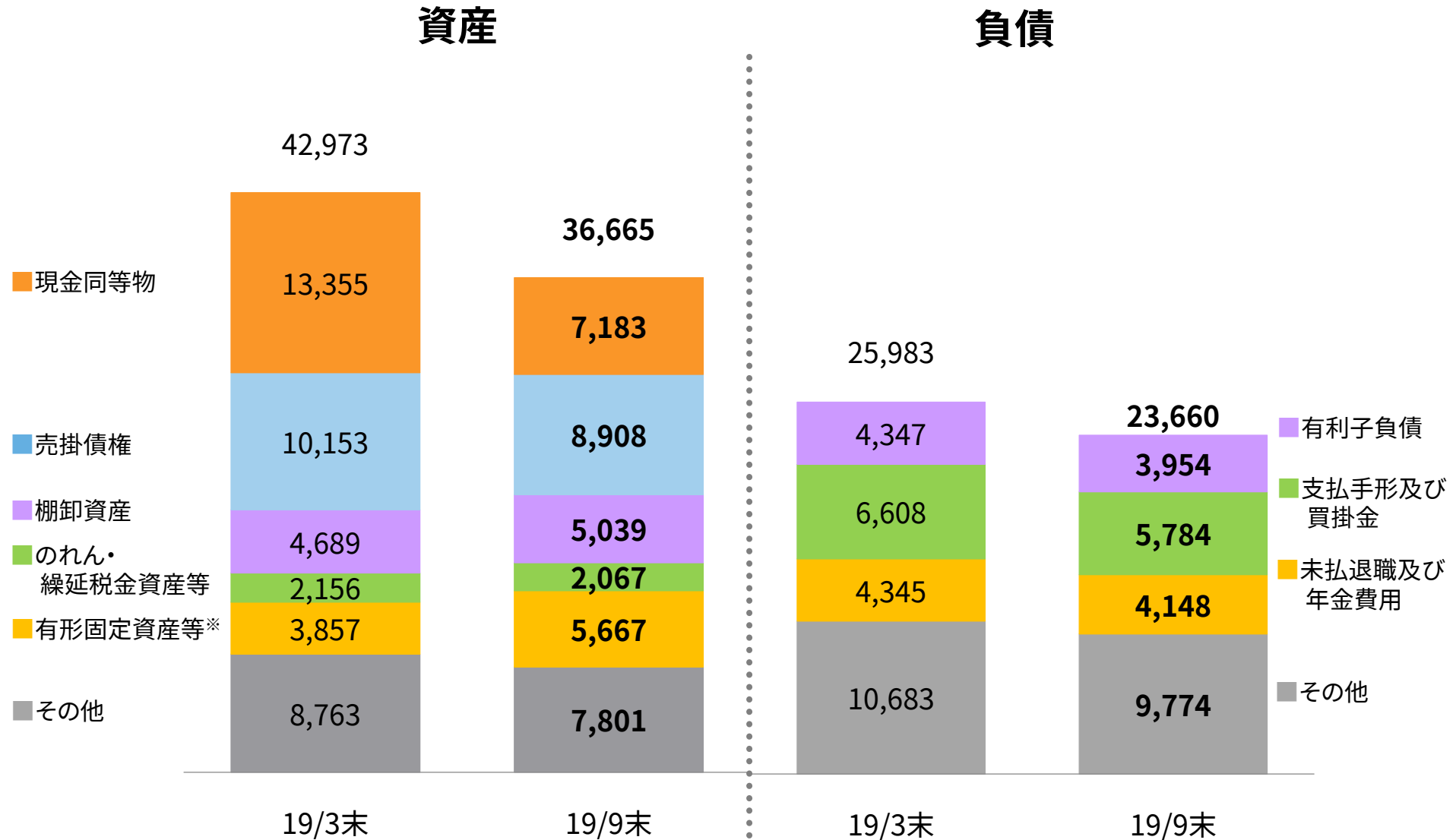
※1:売却収入、設備投資

※2:税金精算
※3:LNG事業譲渡損失、支払いの期ずれ

※社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

貸借対照表

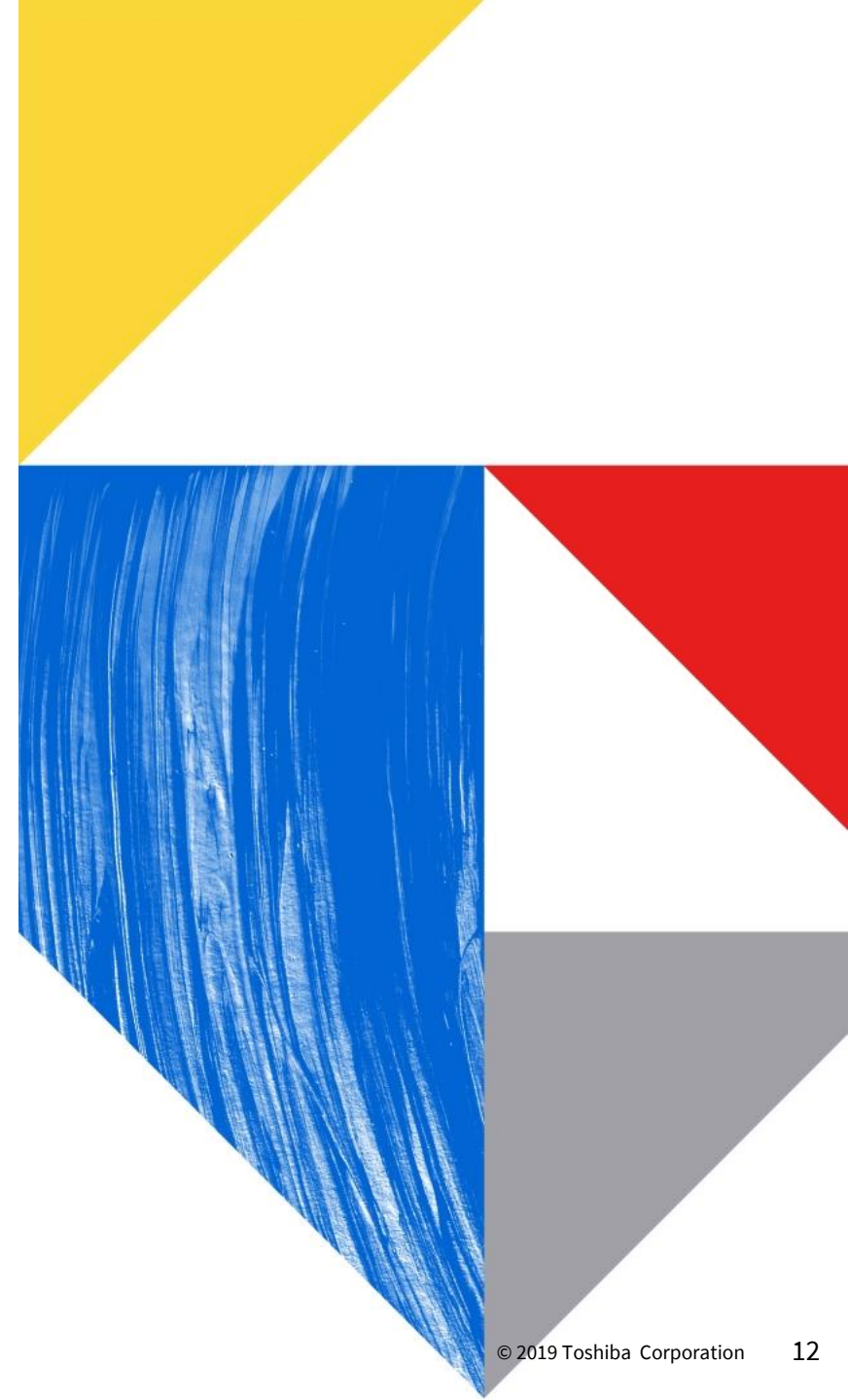
単位:億円



※オペレーティングリース使用权資産を含みます

02

セグメント別業績



2019年度上期 セグメント別

全事業セグメントで対前同増益、黒字化

単位:億円

		18/上期	19/上期	差	(伸長率)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	3,031	2,887	▲144	(▲5%)
	営業損益	▲39	106	+145	
	ROS	▲1.3%	3.7%	+5.0%pt	
インフラシステム ソリューション	売上高	2,983	3,203	+220	(+7%)
	営業損益	▲50	108	+158	
	ROS	▲1.7%	3.4%	+5.1%pt	
ビル ソリューション	売上高	2,690	2,887	+197	(+7%)
	営業損益	98	157	+59	
	ROS	3.6%	5.4%	+1.8%pt	
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	2,410	2,527	+117	(+5%)
	営業損益	80	104	+24	
	ROS	3.3%	4.1%	+0.8%pt	
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	4,723	4,020	▲703	(▲15%)
	営業損益	111	117	+6	
	ROS	2.4%	2.9%	+0.5%pt	
デジタル ソリューション	売上高	1,176	1,408	+232	(+20%)
	営業損益	▲13	61	+74	
	ROS	▲1.1%	4.3%	+5.4%pt	
その他	売上高	2,445	1,640	※1 ▲805	(▲33%)
	営業損益	▲150	▲163	※2 ▲13	
消去	売上高	▲1,678	▲1,458	+220	
	営業損益	33	31	▲2	
合計	売上高	17,780	17,114	▲666	(▲4%)
	営業損益	70	521	+451	
	ROS	0.4%	3.0%	+2.6%pt	

※1:PC事業の連結除外影響 ▲794

※2:PC事業の連結除外影響 +47

エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位:億円

	18/上期	19/上期	差	(伸長率)	
エネルギーシステム ソリューション	売上高	3,031	2,887	▲144	(▲5%) 為替影響 ▲28
	営業損益	▲39	106	+145	為替影響 ▲1 構造改革効果 +48
	ROS	▲1.3%	3.7%	+5.0%pt	
	セグメント別FCF		▲1,025		
原子力	売上高	619	593	▲26	(▲4%) (▼) 安全対策関連工事の進捗 前年同期の一過性要因による反動減
	営業損益	41	69	+28	(↗) 過去海外案件の精算
	ROS	6.6%	11.6%	+5.0%pt	
火力・水力	売上高	1,377	1,170	▲207	(▲15%) (▼) 国内火力の建設、サービス案件の減少
	営業損益	▲48	▲28	+20	(↗) 国内不採算案件の規模減等
	ROS	▲3.5%	▲2.4%	+1.1%pt	(▼) 減収による減益、海外案件の採算悪化
送変電・配電等	売上高	1,083	1,212	+129	(+12%) (↗) 再生可能エネルギー事業
	営業損益	15	78	+63	(↗) 増収による増益、不採算案件の減少
	ROS	1.4%	6.4%	+5.0%pt	
その他	売上高	▲48	▲88	▲40	
	営業損益	▲47	▲13	+34	

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

インフラシステムソリューション 主要事業内訳

ビルソリューション

単位:億円

	18/上期	19/上期	差	(伸長率)	
インフラシステム ソリューション	売上高	2,983	3,203	+220	(+7%) 為替影響 ▲9
	営業損益	▲50	108	+158	為替影響 ▲4 構造改革効果 +24
	ROS	▲1.7%	3.4%	+5.1%pt	
	セグメント別FCF		61		
公共インフラ	売上高	1,471	1,703	+232	(+16%) (↗) 社会システムの規模増
	営業損益	▲43	62	+105	(↗) 増収による増益
	ROS	▲2.9%	3.6%	+6.5%pt	
鉄道・産業システム	売上高	1,810	1,835	+25	(+1%) (↗) 産業用機器の規模増
	営業損益	▲7	46	+53	(↗) 増収による増益、製品構成の見直しによる利益率改善
	ROS	▲0.4%	2.5%	+2.9%pt	
ビルソリューション	売上高	2,690	2,887	+197	(+7%) 為替影響 ▲50 (↗) 昇降機 (国内・海外)、空調 (国内・海外) (↘) 照明
	営業損益	98	157	+59	為替影響 ▲20 構造改革効果 +14
	ROS	3.6%	5.4%	+1.8%pt	(↗) 昇降機 (国内・海外)、照明、空調 (国内・海外)
	セグメント別FCF		25		

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

デバイス&ストレージソリューション 主要事業内訳

単位:億円

	18/上期	19/上期	差	(伸長率)	
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	4,723	4,020	▲703	(▲15%) 為替影響 ▲10
	営業損益	111	117	+6	為替影響 ▲4 構造改革効果 +89
	ROS	2.4%	2.9%	+0.5%pt	
	セグメント別FCF		▲292		
半導体 ^{※1}	売上高	1,764	1,597	▲167	(▲9%) (▼) (D)(S)中国市況低迷
	営業損益	56	80	+24	(↗) (S)構造改革効果により2Q黒字化
	ROS	3.2%	5.0%	+1.8%pt	
HDD他 ^{※2}	売上高	2,959	2,423	▲536	(▲18%) (▼) (転)商流変更
	営業損益	55	37	▲18	(▼) 構造改革費用 ▲49
	ROS	1.9%	1.5%	▲0.4%pt	

※1: ディスクリート、システムLSI、ニューフレアテクノロジー社 (NFT)

(D): ディスクリート

(S): システムLSI

※2: HDD、部品材料、転売等

(H): HDD

(転): メモリー転売

リテール&プリンティングソリューション デジタルソリューション

単位:億円

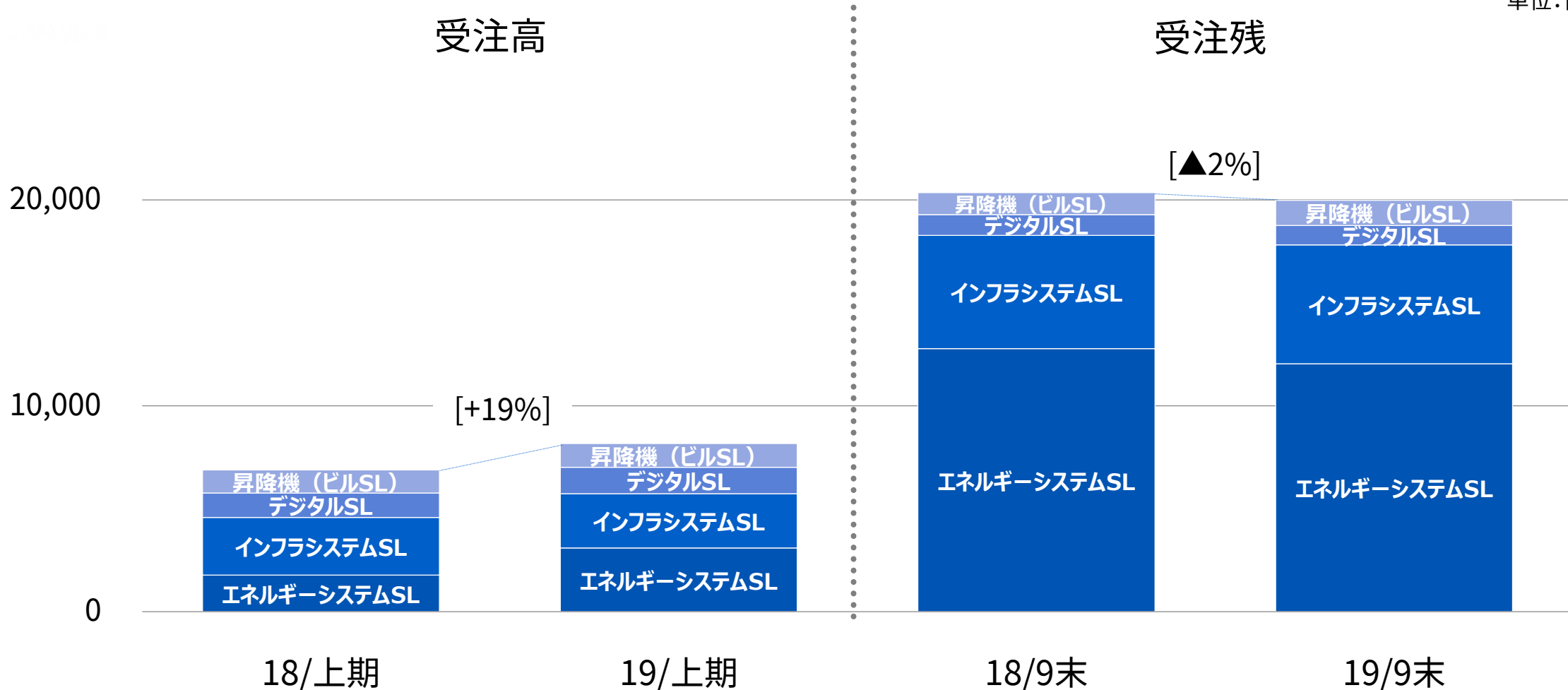
	18/上期	19/上期	差	(伸長率)	
リテール&プリンティング ソリューション					為替影響 ▲33
売上高	2,410	2,527	+117	(+5%)	(↗) (R)国内増収、海外減収 (↘) (P)減収
営業損益	80	104	+24		為替影響 ▲3
ROS	3.3%	4.1%	+0.8%pt		(↗) (R)国内増益、海外減益 (↘) (P)減益
セグメント別FCF		72			

(R):リテール事業
(P):プリンティング事業

	18/上期	19/上期	差	(伸長率)	
デジタルソリューション					為替影響 ±0
売上高	1,176	1,408	+232	(+20%)	(↗) 官公庁向け、製造業向けシステム案件
営業損益	▲13	61	+74		為替影響 ±0 構造改革効果 +25
ROS	▲1.1%	4.3%	+5.4%pt		(↗) 増収による増益
セグメント別FCF		▲15			

受注高は対前同で増加、受注残は前同水準

単位:億円



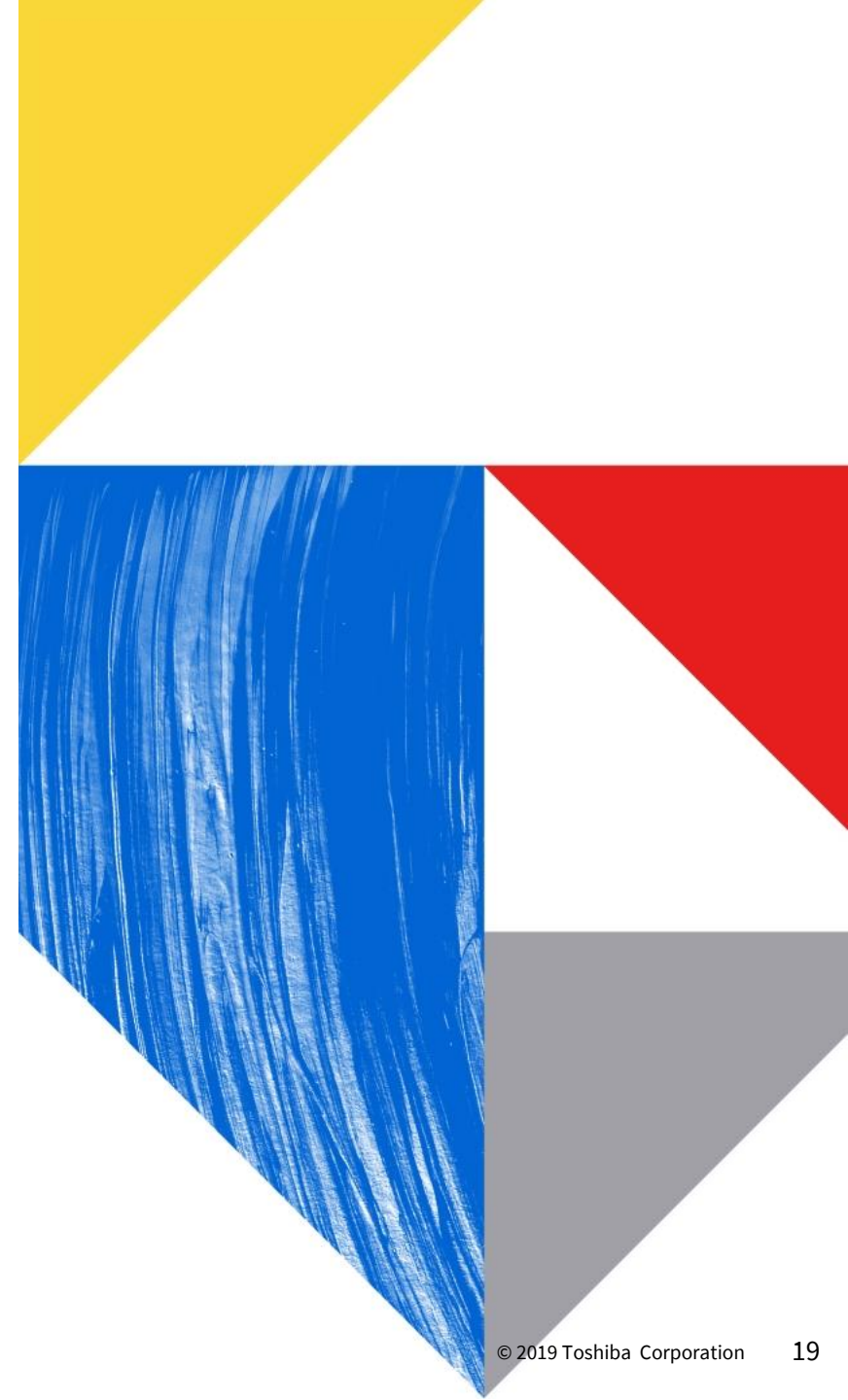
※”SL”はソリューションの略

※エネルギーシステムソリューションにおける受注キャンセルとなった案件を除く

※受注高及び受注残は、社内管理上の経営指標です。受注残は、四半期報告書で公表している残存履行義務とは異なります。

03

補足説明事項



株主還元(自己株式取得)

11月7日に当初計画通り上限7,000億円の自己株式取得を完了

【自己株式の取得状況(2018年11月8日開催の取締役会において決定)】

	19/3末	19/6末	19/9末	【ご参考】 2019/11/13
取得した株式の総数(千株)	110,364	140,414	181,751	198,106
取得価額の総額(億円)	3,998	5,044	6,407	※1 7,000
進捗率 (金額ベース: 上限7,000億円に対して)	57.1%	72.1%	91.5%	100.0%
発行済株式総数(千株)	544,000	521,000	481,000	※2 455,000
自己株式数(千株)	2,735	9,793	11,058	※3 1,415

※ 2019年7月に行った株式報酬としての新株式の発行に関連し、2019年7月1日から7月19日の期間は自己株式の取得を行っておりません。

※1 実際の取得金額は、699,999,651,362円。

※2 11月19日付で自己株式2,600万株を消却することを11月12日付で決定しており、表内の数値は自己株式の消却を反映したものととなります。

※3 11月11日時点で当社が保有する自己株式数から、11月19日付で消却する自己株式2,600万株を減じて算出した参考値となります。

キオクシア持分法損益

単位:億円

		持分法損益	(PPA影響) 内数	(停電影響) 内数	除特殊要因	(ご参考) ビット成長率・ASP推移			
						ビット成長 (対前Q)		ASP (対前Q)	
18年度	1Q実績 (18/6単月)	122			122	18年度	1Q実績	10%台前半の増加	1桁台後半の下落
	2Q実績	330			330		2Q実績	20%台前半の増加	10%台半ばの下落
	3Q実績	▲ 377	(▲563)		186		3Q実績	10%台前半の増加	20%台半ばの下落
	4Q実績	▲ 42	(▲74)		32		4Q実績	1桁台半ばの減少	20%台半ばの下落
19年度	1Q実績	▲ 381	(▲80)	(▲96)	▲ 205	19年度	1Q実績	1桁台前半の増加	10%台半ばの下落
	2Q実績	▲ 232	(▲79)	(▲1)	▲ 152		2Q実績	20%台前半の増加	1桁台半ばの下落

データ提供：キオクシア

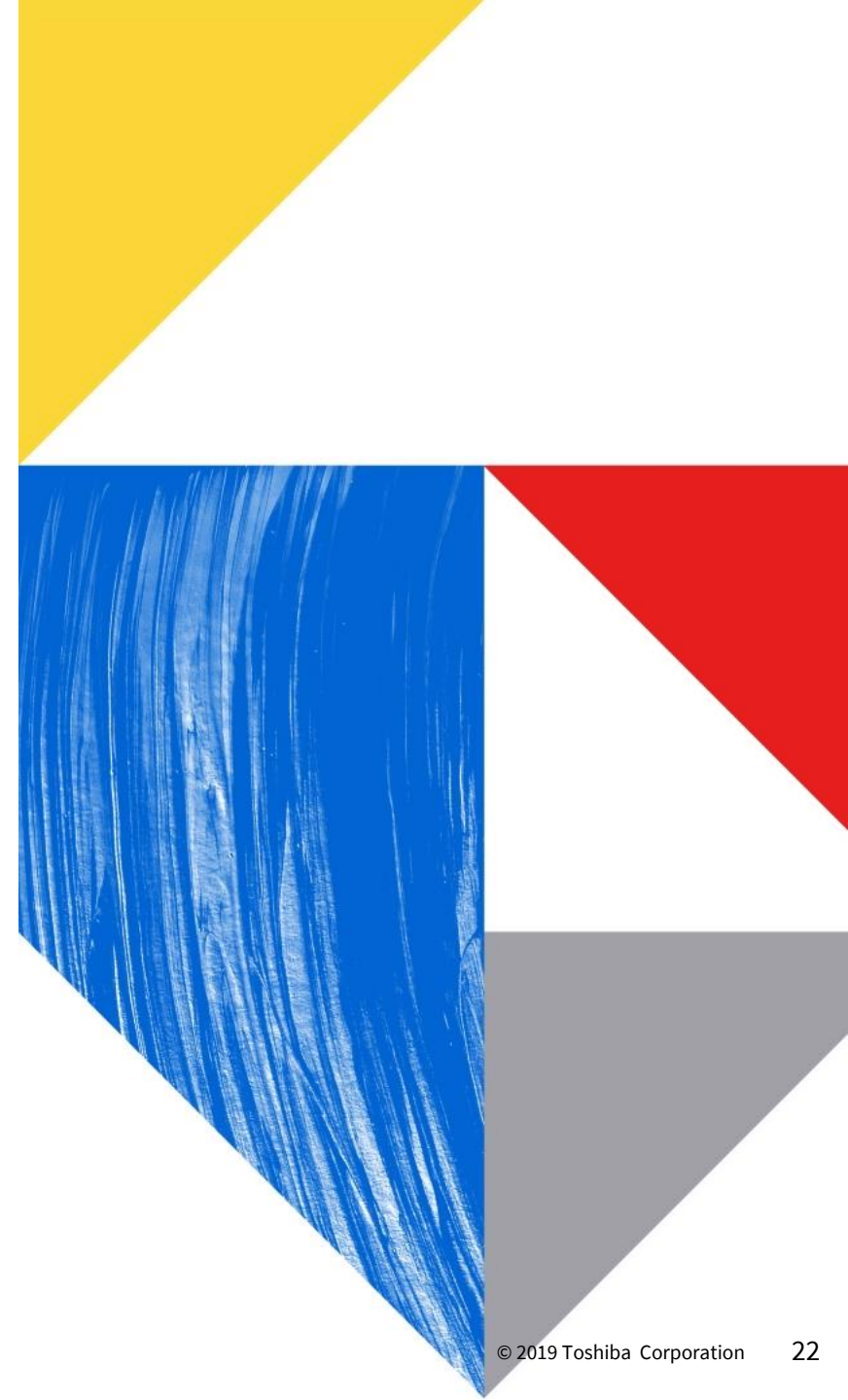
[今後の見通し]

キオクシアの持分法損益に係る今後の見通しについて提供を受けていないため、当社の連結業績については実績のみのご説明とさせていただきます。

⇒ 19年度見通しにおいては、キオクシアの持分法損益について上期実績のみを織り込み、将来見通しを織り込んでいない参考値を開示しています。

04

2019年度業績予想



業績予想 全社

単位:億円

	18年度 実績	19年度 業績予想	対前同	対前回予想
売上高	36,935	34,400	▲2,535	+400
伸長率			▲7%	
営業損益	354	1,400	+1,046	0
ROS	1.0%	4.1%	+3.1%pt	0.0%pt

【ご参考】以下の数値は、19年度のキオクシア（旧東芝メモリ）の持分法損益について上期実績のみを織り込み、将来見通しは織り込んでいない参考値です

継続事業 税引前損益	109	▲600	▲709	※1 ▲200	※1:キオクシア持分法損益2Q実績 ▲232
当期純損益	10,133	▲1,520	▲11,653	▲200	
フリー・キャッシュ・フロー	14,303	▲3,700	▲18,003	※2 +400	※2:運転資本改善他

	19/3末 実績	20/3末 見通し	差	対前回予想
株主資本	14,567	9,700	▲4,867	▲200
株主資本比率	33.9%	26.9%	▲7.0%pt	+0.7%pt
Net有利子負債	▲9,008	▲300	+8,708	▲400
Net D/Eレシオ	▲62%	▲3%	+59%pt	▲4%pt

期末日為替レート (米ドル)	111円	105円	▲6円	0円
-------------------	------	------	-----	----

※Net有利子負債がマイナスの場合、Netキャッシュの状態（現金同等物が有利子負債を上回る）であることを示しています。

上場子会社3社の完全子会社化の影響

単位:億円

	19年度 業績予想	上場子会社株式 取得影響	業績予想 (取得後)	対前同	対前回予想
売上高	34,400	0	34,400	▲2,535	+400
伸長率				▲7%	
営業損益	1,400	0	1,400	+1,046	0
ROS	4.1%		4.1%	+3.1%pt	0.0%pt

【ご参考】以下の数値は、19年度のキオクシア（旧東芝メモリ）の持分法損益について上期実績のみを織り込み、将来見通しは織り込んでいない参考値です

継続事業					
税引前損益	▲600	0	▲600	▲709	▲200
当期純損益	▲1,520	0	▲1,520	▲11,653	▲200
フリー・キャッシュ・フロー	▲3,700	0	▲3,700	▲18,003	+400

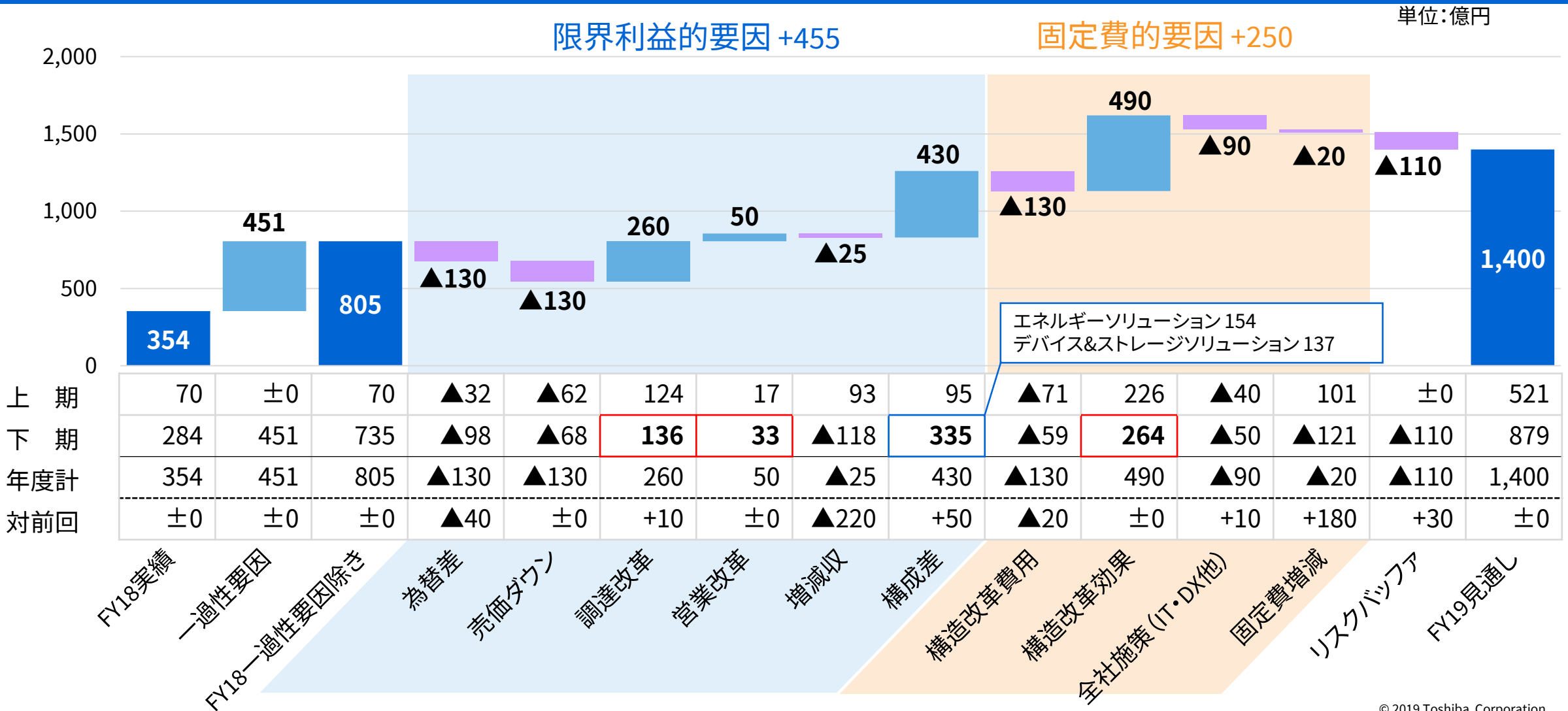
	20/3末 見通し	上場子会社株式 取得影響	業績予想 (取得後)	対前同	対前回予想
株主資本	9,700	▲740	8,960	▲5,607	▲940
株主資本比率	26.9%		25.2%	▲8.7%pt	▲1.0%pt
Net有利子負債	▲300	1,960	1,660	+10,668	+1,560
Net D/Eレシオ	▲3%		19%	+81%pt	+18%pt

※2019年11月13日、当社は東芝プラントシステム(株)、西芝電機(株)、(株)ニューフレアテクノロジーを完全子会社化することを公表しました。

※Net有利子負債がマイナスの場合、Netキャッシュの状態（現金同等物が有利子負債を上回る）であることを示しています。

営業損益分析(18年度→19年度)

19年度営業利益見通し(1,400億円)は不変



業績予想 セグメント別

単位:億円

		18年度 実績	19年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想
エネルギーシステム ソリューション	売上高	6,527	5,800	▲727	(▲11%)	0
	営業損益	▲240	280	+520		+40
	ROS	▲3.7%	4.8%	+8.5%pt		+0.7%pt
インフラシステム ソリューション	売上高	7,335	7,200	▲135	(▲2%)	+300
	営業損益	303	460	+157		+50
	ROS	4.1%	6.4%	+2.3%pt		+0.5%pt
ビル ソリューション	売上高	5,570	5,900	+330	(+6%)	0
	営業損益	169	340	+171		▲20
	ROS	3.0%	5.8%	+2.8%pt		▲0.3%pt
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	4,854	4,900	+46	(+1%)	0
	営業損益	202	220	+18		0
	ROS	4.2%	4.5%	+0.3%pt		0.0%pt
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	9,330	7,900	▲1,430	(▲15%)	▲500
	営業損益	125	360	+235		▲110
	ROS	1.3%	4.6%	+3.3%pt		▲1.0%pt
デジタル ソリューション	売上高	2,531	2,800	+269	(+11%)	+100
	営業損益	81	160	+79		+20
	ROS	3.2%	5.7%	+2.5%pt		+0.5%pt
その他・消去	売上高	788	100	▲688		+400
	営業損益	▲286	▲310	▲24		▲10
リスクバッファ	売上高	0	▲200	▲200		+100
	営業損益	0	▲110	▲110		+30
合計	売上高	36,935	34,400	▲2,535	(▲7%)	+400
	営業損益	354	1,400	+1,046		0
	ROS	1.0%	4.1%	+3.1%pt		0.0%pt

Appendix

設備投資(発注ベース)

単位:億円

設備投資(発注ベース)	18年度 実績	19年度 見通し	対前回予想 (8/7公表)	18/上期 実績	19/上期 実績	19/2Q 実績	19/2Qの主な案件
エネルギーシステム ソリューション	315	200	0	70	43	20	
インフラシステム ソリューション	181	300	0	59	98	43	
ビル ソリューション	243	210	0	154	95	46	
リテール&プリンティング ソリューション	76	100	0	31	35	16	
デバイス&ストレージ ソリューション	335	350	0	260	241	129	パワー半導体増産投資 ニアラインHDD増産投資
デジタル ソリューション	21	40	0	8	13	9	
その他	321	400	0	64	30	1	
合計	1,492	1,600	0	646	555	264	
投融資	35	200	0				

エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		18年度 実績	19年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想
エネルギーシステム ソリューション	売上高	6,527	5,800	▲727	(▲11%)	0
	営業損益	▲240	280	+520		+40
	ROS	▲3.7%	4.8%	+8.5%pt		+0.7%pt
原子力	売上高	1,691	1,509	▲182	(▲11%)	▲161
	営業損益	155	170	+15		+37
	ROS	9.2%	11.3%	+2.1%pt		+3.3%pt
火力・水力	売上高	2,797	2,319	▲478	(▲17%)	+40
	営業損益	▲120	12	+132		▲14
	ROS	▲4.3%	0.5%	+4.8%pt		▲0.6%pt
送変電・配電等	売上高	2,131	2,155	+24	(+1%)	+51
	営業損益	▲122	131	+253		0
	ROS	▲5.7%	6.1%	+11.8%pt		▲0.1%pt
その他	売上高	▲92	▲183	▲91		+70
	営業損益	▲153	▲33	+120		+17

インフラシステムソリューション 主要事業内訳

ビルソリューション

単位:億円

		18年度 実績	19年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想
インフラシステム ソリューション	売上高	7,335	7,200	▲135	(▲2%)	+300
	営業損益	303	460	+157		+50
	ROS	4.1%	6.4%	+2.3%pt		+0.5%pt
公共インフラ	売上高	4,091	4,219	+128	(+3%)	+159
	営業損益	273	345	+72		+79
	ROS	6.7%	8.2%	+1.5%pt		+1.6%pt
鉄道・産業システム	売上高	3,951	3,879	▲72	(▲2%)	+111
	営業損益	30	113	+83		▲34
	ROS	0.8%	2.9%	+2.1%pt		▲1.0%pt
ビルソリューション	売上高	5,570	5,900	+330	(+6%)	0
	営業損益	169	340	+171		▲20
	ROS	3.0%	5.8%	+2.8%pt		▲0.3%pt
昇降機		2,173	2,321	+148	(+7%)	▲23
照明	売上高	1,443	1,422	▲21	(▲1%)	▲49
空調		1,993	2,145	+152	(+8%)	+55

デバイス&ストレージソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		18年度 実績	19年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	9,330	7,900	▲1,430	(▲15%)	▲500
	営業損益	125	360	+235		▲110
	ROS	1.3%	4.6%	+3.3%pt		▲1.0%pt
半導体 ^{※1}	売上高	3,549	3,200	▲349	(▲10%)	▲170
	営業損益	2	220	+218		▲70
	ROS	0.1%	6.9%	+6.8%pt		▲1.7%pt
HDD他 ^{※2}	売上高	5,781	4,700	▲1,081	(▲19%)	▲330
	営業損益	123	140	+17		▲40
	ROS	2.1%	3.0%	+0.9%pt		▲0.6%pt

※1 : ディスクリット、システムLSI、ニューフレアテクノロジー社 (NFT)

※2 : HDD、部品材料、転売等

TOSHIBA